

手話だより

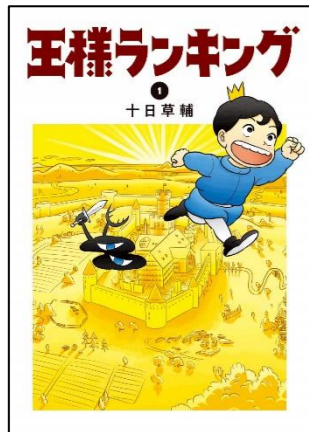
12月号



2学期が終わり、冬休みに入りますね。皆さんはどう過ごしますか？家で過ごすなら読書もいいですね！以前、11月に手話・情報ポスターで紹介した本をここでも紹介しますので、是非お読みください。他にも面白い本を探してみてください。



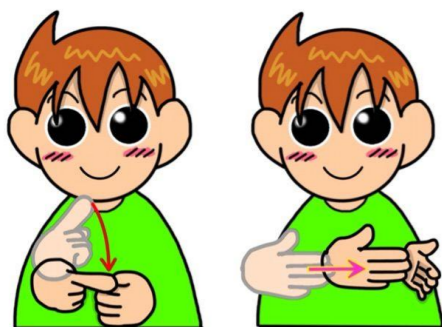
小学生の男の子、ゆういち君が主人公。学校のクラスのみなどで、「幸福の王子」の劇をやることに。ゆういち君は、ツバメの役をやりたい、と立候補しますが、クラスの何人かが反対します。なぜかという、ゆういち君は耳が聞こえない子で、みんなみたいにうまく発音が出来ないからです。はたしてゆういち君は、ツバメの役になれるのでしょうか。



巨人の両親を持ちながら体が小さく、剣すらまともに振れない非力な王子・ボッジ。耳が聞こえず言葉も話せない彼は、周囲から王の器ではないと思われていた。しかし、「カゲ」という友を得たことでボッジの人生は動き出す。

編集部のオススメです！アニメ化もされています。

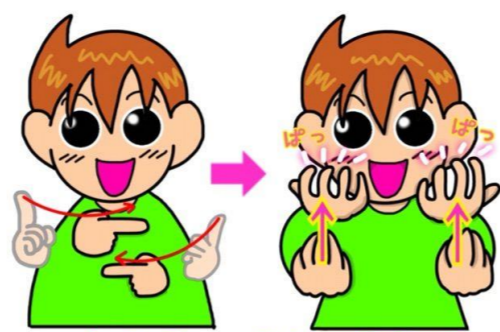
手話コーナー 年始年末に関する手話を紹介します！



年末・歳末・大晦日



正月・元旦・1月1日



あけましておめでとう！

ろう者の世界を知ろう！

塚原 和俊

「言語は文化をつくり、言語を失うと、人は文化も失う」といわれています。文化と聞くと、学問や芸術などをイメージすると思いますが、もっと広い意味では、ある集団でみられる習慣や価値観、ふるまいなど暮らし方すべてをいうそうです。手話という共通の言語を持つろう者にも、共有し、先輩から受け継がれてきた暮らし方（やり方）があります。手話を学ぶということは、手話を自分たちの言語として暮らす人（ろう者）のこと、ろう者の音を使わない文化も含めて理解することが大切です。

ろう者の拍手

発表会などの大きな会場で拍手するときは、両手をあげて手をひらひらさせます。



人を呼ぶとき

後ろから人を呼ぶときは、優しく肩をたたきます。（2回）

遠くの人を呼ぶときは、手を振ります。また、テーブル（机）をとんとんたたいたりすることもあります。



窓越しなどでの会話

手話は、窓越しやにぎやかな場所でも話ができます。



他にもろう者の暮らし方（やり方）がたくさんあります。探してみるのも楽しいと思います。是非調べてみてください。